

単元について

○ 単元観

本単元は、小学校学習指導要領体育科第1学年及び第2学年において「F 表現リズム遊び ア 表現あそび イ リズム遊び」として位置付けられている。学習指導要領の内容「表現遊びでは、身近な題材の特徴をとらえ全身で踊ること」「リズム遊びでは、軽快なリズムの曲に乗って踊ること」の内容を受けて設定したものである。

学習指導要領の「ア 表現あそび」の活動例、「いろいろな題材の特徴や様子を「〇〇が〇〇しているところ」のような具体的な動きでとらえ、跳ぶ、回る、ねじる、這う、素早く走るなど、全身の動きに高・低の差や速さの変化をつけて即興的に踊ること」、「イ リズム遊び」の活動例、「友達と手をつないだり、まねをしたりして踊ること」を基に構成されている。

「表現リズム遊び」は、自分以外のものになりきることができ、自分の考えで、思いつくままに自由に動くことができる運動である。のびのびと体を動かす楽しさや心地よさを味わい、なりきって全身で動きを表現したり、軽快なリズムにのって踊ったりして楽しむことができ、生涯にわたって運動に親しむことのできるような姿勢を養うためにも重要な単元であると考えられる。

風船やゴム、新聞紙になりきることを積み重ね、創造性を豊かにし、なりきって踊る楽しさを味わえるようにし、友達のよい動きを見付けたりすることをねらいとしている。さらに、友達の動きを見たり、一緒に動いたりすることによって、新しい動きにふれることができる。これらのことから、協働的に、取り組む楽しさを味わえる単元である。

○ 児童観

本学級の児童は、休憩時間には外で遊ぶことが多い。一方では、外に出ることをあまり好まない児童も数名いる。児童は、1学期の学習で表現リズム遊びの「リズム遊び」をし、リズムに合わせて、友達と楽しく踊ることができた。「表現遊び」はまだ学習を行っていない単元ではあるが、運動会での取り組みや、他教科での学習時における身体表現やリズム遊びなどから見ても、いきいきと活動できる児童も多いが、一方で、表現することに抵抗を感じている児童がいる。自分で動きを選んだり見付けたりすることが苦手で、友達のよい動きを見付け、友達に伝えたりすることにもなかなか至らない状況がある。

また、「まねっこ遊びは好きですか」の質問に、数名が「嫌い」と答えており、その理由を「恥ずかしい」や、「どうやって動いたらいいかわからない」などと答えている。友達のまねはできるが、動きを選んだり、友達のよい動きを見付けたりして、自分の動きに生かすということには課題が見られる。

○ 指導観

課題の設定では、表現リズム遊びにつながるような、足じゃんけんや手遊びといった、身近な遊びを楽しみ、その中で全身を使って自由に表現したり、題材を使って遊んだりさせる。その上で、遊びながら踊り全身で表現する楽しさを味わわせ自分の考えで思いつくままに自由に動かさせ、表現させることによって、自分以外のいろいろなものになりきってみたいという意欲をもたせる。また、表現することに抵抗を感じている児童に対しては、題材で遊んだり友達の動きを見たりすることで題材の動きを体感させ、小さい動きから表現させるようにして思いつくままに自由に表現できるようにしていきたい。

情報収集のリズム遊びでは、軽快なリズムに合わせて、基本的な動きとなる「弾む、回る、ねじる、スキップする」などの動きを身に付けさせ、友達と一緒に踊ったり、まねをしたりして、友達のいい

ところを見付ける力を身に付けていけるようにする。リズムに合わせて動くことにより、のびのびと体を動かし、様々な体の動かし方や、速い・遅いや、高低差をつけて動くなど、基本的な動きを身に付けさせたい。

整理・分析の過程では、ゴムになりきって遊んだり、新聞紙になりきるために新聞紙で遊んだりして、楽しく踊るための動きを身に付けさせる。生き物ではなく動かないものだけでも、特異的な動きのあるものを題材にし、基本的な動きとして身に付けた動きをいかし自由に表現させたい。また、友達と一緒に取り組むことによって、友達のよい動きを見付け、より楽しく踊れるように考えさせたい。

まとめの段階では、これまでの学習で得た動きを生かし、新聞紙になりきって踊ることを楽しみ、今まで学習してきた題材を班ごとに発表し、みんなで発表者のまねをして、表現遊びを楽しむようにしたい。また、友達と一緒に踊ったり、まねをして踊ることにより、心地よく踊るなかで学習した基本的な動きを使って題材そっくりになりきっているのを見たり、友達の動きの中から自分にはなかった動きを見付けたりして、創造性を豊かにしていきたい。

振り返りでは、学習カードをもとに、発表したり、まねをして踊ったりしたことの感想や自分や友達の成長や頑張りを伝え合う場を設定する。

単元の目標

- 題材の特徴をとらえ、題材になりきり全身でリズムにのって楽しく踊ったりすることができる。

【技能】

- 運動に進んで取り組み、友達と仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができる。【態度】
- 表現遊びやリズム遊びの基本的な動き方や題材の特徴を知り、楽しく踊るための動きを選んだり見付けたりすることができる。【思考・判断】

単元の評価規準

運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
表現リズム遊びに進んで取り組みようとしている。 きまりを守り、だれとでも仲よく踊ろうとしている。 運動をする場の安全に気を付けようとしている。	表現遊びやリズム遊びの基本的な動き方や題材の特徴を知り、踊るための動きを選んだり見付けたりすることができる。	題材の特徴をとらえ、題材になりきり全身でリズムにのって踊ることができる。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	・運動に進んで取り組み、友達と仲よく踊ったり、友達と調子を合わせて踊ったりすることができる。	・運動に進んで取り組み、友達と仲よく踊ることができる。
【思考力】	・表現遊びやリズム遊びの基本的な動き方や題材の特徴を知り、楽しく踊るための動きを選んだり見付けたりし、工夫して自分の動きに生かそうとしている。	・表現遊びやリズム遊びの基本的な動き方や題材の特徴を知り、楽しく踊るための動きを選んだり見付けたりすることができる。
【自己理解】	・表現リズム遊びを通して、友達と楽しく踊ることができたことに喜びを感じ、自己の成長に気付く、次への学習へ学びをつなげようとしている。	・表現リズム遊びを通して、友達と楽しく踊ることができたことに喜びを感じ、自己の成長に気付いている。

指導と評価の計画

全6時間

次	時	学習内容	評 価					
			関	思	技	評価規準	評価方法	
一	1	<p>課題の設定（1）</p> <p>○表現リズム遊びにつながる動きを、身近な遊びをして楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 足ジャンケン・体ジャンケンをして、体を大きく使って表現して楽しむ。 <p>『おちゃらか』『お寺の和尚さん』</p> <p>○「空を飛ぶもの」を想起させ、風船を使って、リズム(指導者がタンバリンで出すリズム)にのって踊ったり、風船になりきったりして遊ぶことを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 風船を使ってリズムに合わせて一人で踊る。 風船に変身して、なりきって遊ぶことを楽しむ。 いろいろなものになりきることに興味をもち、「なりきり名人」になることに見通しをもち、学習計画を立て、単元で付けたい力について考える。 	○				<ul style="list-style-type: none"> 表現遊びにつながる遊びを、意欲的に取り組もうとしている。 	<p>行動観察 学習カード</p>
二	2	<p>情報の収集（1）</p> <p>○リズム遊びを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 軽快なリズムの曲を使って、リズムにのって弾む、回る、ねじる、スキップするなどの動きをして踊る。 友達と手をつないで踊ったり、まねをしたりして踊る。 グループになって、先頭のひとのまねをして踊る。 			○		<ul style="list-style-type: none"> リズム遊びを、全身で動くことができたり、リズムにのって全身を大きく使って踊っている。 	<p>行動観察 学習カード</p>
三	3	<p>整理・分析（2）</p> <p>○ゴムになりきって、楽しんで踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴムの特徴や様子を、みんなでゴムになりきって踊る。 友達と一緒にゴムになりきり、友達のまねをして楽しんで踊る。 友達がゴムを動かし、そのゴムになりきって楽しんで踊る。 友達のよい動きを見付け、伝え合う。 			○		<ul style="list-style-type: none"> ゴムの動きを考えたり、友達のよい動きを見付けている。 	<p>発言 行動観察 学習カード</p>
	4	<p>○新聞紙と仲良くなれるように、新聞紙になりきって踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新聞紙を使って遊ぶ。 教師の動かす新聞紙になりきって踊る。 気に入った動きや、おもしろかった動きを見付け、伝え合う。 			○		<ul style="list-style-type: none"> 新聞紙を使って、全身を使って遊んだり、新聞紙の動きを考えたりして踊っている。 	<p>発言 行動観察 学習カード</p>

次	時	学習内容	評 価				
			関	思	技	評価基準	評価方法
四	5	<p>まとめ・創造・表現・振り返り（2）</p> <p>○新聞紙になりきって、楽しんで踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達が新聞紙を動かし、その新聞紙になりきって楽しんで踊る。 ・友達と一緒に新聞紙になりきり、友達のまねをして楽しんで踊る。 ・友達のよい動きを見付け、伝え合う。【本時】 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙になりきるために、踊るための動きを選んだり、友達のよい動きを見付けたりしている。 	発言 行動観察 学習カード
	6	<p>○風船・ゴム・新聞紙になりきった3つを使い、簡単なお話を作り、班ごとに発表して、みんなでまねをして、表現リズム遊びを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風船・ゴム・新聞紙の動きを、お話にして考え、ナレーターをつけて班ごとに発表する。同時にみんなでまねをして、表現リズムを楽しむ。 <p>○学習を振り返り、自分や友達の成長を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時に踊った感想や学習カードをもとに、自分の成長や友達の頑張りを発表する。 <p>学びのモニタリング</p> <p>○自らの学びについて振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点で学習カードを基に自らの学びを振り返る。 		○		<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を生かし、題材の特徴や、踊るための動きを選び、友達のよい動きを見付けている。 ・表現リズム遊びを通して、友達と楽しく踊ることができたことに喜びを感じ、自己の成長に気付こうとしている。 	発言 行動観察 学習カード

本時の学習

(1) 本時の目標

- 新聞紙になりきり、楽しく踊り、友達のよい動きを見付けることができる。

(2) 本時の評価規準

- 新聞紙になりきるために、楽しく踊るための動きを選んだり、友達のよい動きを見付けたりしている。

【思考・判断】

(3) 本時の学習展開（5時間目／全6時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 準備運動をする。 ・『お寺の和尚さん』 ・まねっこ走 ・前時の新聞紙の動きを確認する。 2 本時の学習課題を確認する。 めあて _____ 新聞紙になりきって、友だちのようごきを見つけて 楽しもう。	◇ペアで『お寺の和尚さん』をして、動きやジャンケンを全身でして楽しむ。 ◇今までの学習で見付けてきた動きを、グループで先頭の友達のまねをしながら動き回る。 ◇前時の動きを教師が動かす新聞紙に合わせて、自由に踊る。 (新聞紙…広げる、風になびく、地面に落ちる、ピンと引っ張る、折る、ぐちゃぐちゃにちぢむ、風に飛ばさせる) ◇児童が動きやすいように、音楽を流す。	
本時のゴールの見通し A ：新聞紙になりきって、友達のよい動きを見付け、工夫して自分の動きに生かしている。 B ：新聞紙になりきって、友達のよい動きを見付けている。		
3 友達が新聞紙を動かし、その新聞紙になりきって楽しんで踊る。 ○友達が動かす新聞紙に合わせて、踊ってみましょう。友達のよい動きをたくさん見付けましょう。 4 友達と一緒に新聞紙になりきり、友達のまねをして楽しんで踊る。 ○今から動かす新聞紙を一人の人がなりきって、その人のまねをしながら踊りましょう。友達のよい動きをたくさん見付けましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> □思考の場の工夫 評価する 新聞紙になりきり、友達の踊りをみたり、一緒に踊ったりして、友達のよい動きを見付けている。 </div>	◇新聞紙の動かし方を、支援しながら、楽しく踊っていたり、よい動きをしていたりする児童に声をかけていく。 ◆踊ることが難しい児童に対して、こちらからいくつか動きを示し選べるようにする。 ◇今まで学習した動きをもとに教師が新聞紙を動かす。児童が交代しても、新聞紙の動きが変わらないように新聞紙の動きを統一させる。 ◆踊ることが難しい児童に対して、声をかけ、友達と一緒に踊ることの楽しさに気付かせる。	

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p>
<p>5 全体で交流する。</p> <p>○友達と一緒に新聞紙になりきってみて、見つけた友達のよい動きを、みんなに紹介し、紹介された動きを一緒に踊る。</p> <p>・新聞紙を広げた時の、○○さんの動きが、腕を横にピンと伸ばして、体を大きく使っているところが、新聞紙にそっくりでおもしろかったです。</p> <p>・新聞紙がくしゃくしゃになる時の○○さんの動きが、手をねじったり、体をねじったりしていてそっくりでした。</p> <p>6 本時の学習のまとめをする。</p> <p>○今日学習した動きを活かして、新聞紙になりきってみよう。</p>	<p>◇紹介された児童は、前に出て発表する。</p> <p>◇紹介された児童は教師が動かす新聞紙を見て踊り、その動きのまねをするようにさせる。</p> <p>◆活動中に、よい動きを見付け確認しておく。</p> <p>◇全体交流で紹介された動きを教師が動かす新聞紙に合わせて、自由に踊る。</p> <p>◆踊ることが難しい児童に対して、少しでも動きが変わっていたら、声かけをし、友達のよい動きを見付けることで、楽しく踊れるようになったことを気付かせる。</p>	<p>◎新聞紙になりきり、友達のよい動きを見付け、楽しく踊ることができ。〔思考・判断〕</p> <p>(発言・行動観察)</p> <p>学習カード)</p>
<p>★めざす児童の姿</p> <p>友達のよい動きは、全身を使っていたので、自分の動きも体を大きく使うようにしてみました。</p>		
	<p>◇次時は、これまでの題材になりきった動きを、班ごとに発表して楽しむことを伝える。</p>	

(4) 板書計画

「なりきり名人」になろう

めあて **新聞紙** になりきって、友だちのようごきを見つけて 楽しもう。

◎友だちのようごき + 自分のうごき

○友だちのようごき

見つけた 友だちの よい動き

新聞紙

ピンとはる
ぐっしゃつとする
ひらひら とぶ

友だち

体を大きく広げる
体を小さくちぢめる
スキップしながら とぶ

今までの学習を通して 出てきた 動き

今までの学習を通して 出てきた 動き

今までの学習を通して 出てきた 動き

今までの学習を通して 出てきた 動き

<参考> 学びのモニタリング

学びのモニタリング

「なりきり名人」になろう

二年 組 ()

しゅ体せい・・・ **すすんで** うごく
自分から すすんで ひょうげんリズムあそびが できた。

5
4
3
2
1

思こう力・・・ **よいうごきを見つけた。**
楽しくおどれる うごきや ともだちの よいうごきを見つけた。

5
4
3
2
1

自己理解・・・ **自分の成長**
楽しく おどれるようになったことや **がんばって** おどった。

5
4
3
2
1

